

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : アセトンリムーバー 450ml×2 本
会社名 : 株式会社ビー・エヌ
住所 : 〒536-0014 大阪市城東区鳴野西 2-7-6
電話番号 : 06-6962-2781
FAX 番号 : 06-6963-3765
緊急連絡先電話番号 : 06-6962-2781
メールアドレス : info@b-n.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : アクリルネイル及びグルーオフ

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 2
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2 B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回曝露）	区分 3（麻酔作用、気道刺激性）
	特定標的臓器・全身毒性（反復曝露）	区分 2（血液）
	誤えん有害性	区分 2
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体及び蒸気
眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
眠気またはめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復曝露による血液の障害のおそれ
飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

注意書き

【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。

熱、火花、裸火、高温物などの着火源から遠ざけること。-禁煙。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。

静電気放電や火花による引火を防止すること。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

粉塵、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

容器を密閉しておくこと。

【応急措置】

火災の場合 : 適切な消火方法をとること。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間、注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 無理して吐かせないこと。
直ちに医師の診断、手当てを受けること。

皮膚（又は毛髪）
に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。
直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

曝露又はその懸念が
ある場合 : 医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で保管する。
施錠して保管する。

【**廃棄**】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に
業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一物質又は混合物の区別：単一物質

化学名又は一般名 : アセトン

成分名	含有量 Wt%	CAS No.	化審法番号	PRTR 法	労働安全衛生法	毒劇法
アセトン	98%以上	67-64-1	(2)-542	非該当	表示・通知対象物質：17	非該当

4. 応急処置

目に入った場合	: 直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	: 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部位を多量の水で洗い流す。 もし、皮膚に炎症を生じた時は医師の手当を受ける。

- 吸入した場合 : 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の処置

- 消火剤 : 泡（アルコールが望ましい）、粉末、二酸化炭素、噴霧水
- 特定の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素の他有毒ガスが含まれるので煙を吸入しないように注意する。
- 特定の消火方法 : 火元への燃料源を断ち、消火剤を使用して消火する。
スプレー水で火炎に暴露されている表面を冷やす。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行い、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の処置

- 人体に対する注意事項 : 人体に対する注意事項：周辺の人を退避させて、作業の際保護具を着用し、風上から作業する。
- 環境に対する注意事項 : 環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 除去方法 : 少量の場合は、土砂、ウェス等に吸着させて、専用の容器に回収する。
大量の場合は、土砂等で流れを止め、安全な場所に導いて回収する。
その際、下水などに入り込まないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触を避ける。
- 注意事項 : 漏れ、溢れ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
容器を転倒、落下、又は衝撃を加える等の粗暴な取り扱いをしない。
使用後は容器を密封する。

保管

- 保管条件 : 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密栓して、空気との接触をさける。
- 安全な容器包装材料 : 鋼、ステンレス鋼及びアルミニウムは容器として耐久性がある。

8. 曝露防止措置

品 名	管理濃度	許容濃度	ACGIH
アセトン	5 0 0 ppm	2 0 0 ppm	5 0 0 ppm

* 日本産業衛生学会勧告値

- 設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- 保護具 : 状況に応じ有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态
- 形状 : 液体
- 色 : 無色液体
- 臭い : 特有の臭気
- p H : データなし

比重 : 0.79
 溶解性 : ほとんどの有機溶剤とはいかなる割合にても混合する。

項 目	アセトン
沸 点	56℃
蒸気圧	24.2kPa
融 点	-95℃
引火点	-18℃
発火点	540℃
爆発限界	2.6～12.8vol%

1 0. 安定性及び反応性

安定性 : 常温で安定。
 反応性 : 強酸化剤（硝酸、過酸化水素、過塩素酸塩類等）と激しく反応する。
 避けるべき条件 : 日光、熱、酸化剤との接触。
 危険有害な分解生物 : 一酸化炭素。

1 1. 有害性情報

急性毒性 : 経口 (区分外) ラット経口 LD₅₀ 5,800 mg/kg
 吸入 (蒸気) (区分外) ラット吸入 LC₅₀ 50,100mg/m³/8h
 局所効果 : 皮膚刺激 ウサギ 395mg 軽度
 生殖細胞変異原性 (区分外) : 今のところ報告はされていない。
 発がん性 (区分外) : 発がん性物質には分類されていない。

1 2. 環境影響情報

残留生分解性 : 微生物等による分解性が良好である。
 魚毒性 : ヒメダカ LC₅₀/48H>1000ppm

1 3. 廃棄上の注意

関係法規や条例に従って処理する。
 焼却する場合には、アフターバーナーおよびスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。
 空容器を処分するときは、内容物を完全に除去した後に行う。
 処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた「産業廃棄物処理業者」に委託する。

1 4. 輸送上の注意

国際規則 : 国連番号 1090
 : 国連品名 アセトン
 : 国連分類 クラス3 (引火性液体)
 : 容器等級 II

国内規制

消防法 : 危険物第4類引火性液体、第1石油類水溶性液体
 船舶安全法 : 引火性液体類
 航空法 : 引火性液体

特別の安全対策 : 車両などによって運搬する場合は荷送人は運送人に運送注意書、
 イエローカードを交付する。運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、
 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法	: 危険物第4類 第一石油類 水溶性液体（指定数量400L）
化学物質管理促進法	: 非該当
労働安全衛生法	: 施行令別表第1 第4号危険物・引火性の物 施行令別表第6の2 有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号 （第2種有機溶剤） 法第57条の2 施行令第18条の2 別表第9 名称等を表示・通知すべき対象物質（アセトン）
毒物及び劇物取締り法	: 非該当
船舶安全法	: 危険則第3条 引火性液体類
航空法	: 施行規則第194条危険物 引火性液体

1 6. その他の情報

引用文献等	: 堀川化成株式会社 安全データシート
記載内容の取り扱い	: ここに記載された内容は、現時点で入手できる情報・データに基づいて作成してありますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の手続きを対象としたもので特別な取り扱いをする場合には用途用法に適した安全対策を実施のうえお取り扱いください。